



2010年9月29日

2009年度下期分として
温室効果ガス2,343 トン分のカーボンオフセットを実施

「Eco-Net 約款」等の導入により、実施件数 56%増！（2009 年度上期比）

日本興亜損害保険株式会社(社長 兵頭 誠)では、お客様の温室効果ガス排出量削減を支援するため、保険商品・サービスに関連したカーボンオフセットを実施しています。

この度、中国における水力発電プロジェクトおよび風力発電プロジェクトから創出された排出権を取得して、2009 年度下期分として合計 2,343 トンのオフセット手続き(国連が認証した排出権の取得および日本国政府への無償譲渡)が完了しましたのでお知らせいたします。

このカーボンオフセットを付帯した保険商品・サービスは、2008 年 9 月より実施していますが、今回の手続き分を加えたオフセットの累計は**4,779トン**となります。これは**東京ドーム約131個分**[※]のスギ森林が1 年間に吸収するCO₂に相当します。

(※)80 年生のスギ人工林 1ha 当たりのCO₂吸収量を年間 7.8トンとして試算(出典:林野庁ホームページ)

■2009 年度下期分のカーボンオフセット実施内容

【オフセットの実施件数】

対象	環境貢献効果	実施件数	同年上期比
自動車保険(Web 確認・Eco-Net 約款)	紙の省資源化	134,259 件	176.6%
樹脂バンパー補修、エコパーツ活用	修理部品の省資源化	29,686 件	102.5%
	合計	163,945 件	156.2%

* オフセットの対象の詳細については、末尾の「カーボンオフセットの対象」をご参照ください。

【オフセットした温室効果ガス排出量】

2,343トン (排出権購入に要した費用:8,197,250 円)



(風力発電プロジェクト)



(水力発電プロジェクト)



* オフセットの対象は、保険事故対応業務および保険のWeb申し込みにおいて排出する CO₂ 量としていますが、実際にオフセットする量は前記のとおり 1 件につき 50 円の定額としています。したがって、オフセットの対象から排出される CO₂ の算定結果に基づき実施しているものではありません。なお、カーボンオフセットの仕組みについては、弊社ホームページをご参照ください。

(http://www.nipponkoa.co.jp/environment/carbon_off_set.html)



【日本政府に無償譲渡した国連認証済排出権の内訳】

排出権種別	CER※	CER※
国連登録番号	0878	1484
プロジェクト名	河北省康保における臥龍兔山 30 MW 風力発電プロジェクト	貴州省におけるシャパ 30MW 水力発電プロジェクト
実施国	中華人民共和国	中華人民共和国
プロジェクトタイプ	風力発電	水力発電
認証済排出削減量	1,343トン (プロジェクト全体の予定削減量は 59,089トン)	1,000トン (プロジェクト全体の予定削減量は 91,369トン)

※CER(Certified Emission Reduction)とは、国連で認証された開発途上国との共同事業であるCDM(Clean Development Mechanism)から得られる排出削減量。なお、オフセット手続きについては、株式会社リサイクルワンならびにオリックス株式会社を通じて行っています。

(別紙「カーボンオフセット証書」参照)

【カーボンオフセットの対象】

弊社は、保険商品・サービスを通して環境保全の重要性を広く社会に伝え、お客様をはじめとしたステークホルダーの皆様が環境配慮行動(紙の省資源化や修理部品の省資源化など)を促していきたいと考えており、2008年9月よりカーボンオフセットを付帯した保険商品・サービスを実施しています。

お客様が以下のいずれかのプランをご選択された場合は、弊社が1件につき50円を負担して国連認証の再生可能エネルギーのプロジェクトなどから生成される排出権(CER)を購入(カーボンオフセット)しています。

① 自動車保険「Eco-Net 約款」「Web 確認」カーボンオフセット

インターネットで保険約款などをご確認いただくペーパーレスのプランです。

「Eco-Net 約款」は保険約款を、「Web 確認」は保険証券および保険約款を紙により交付しない代わりにインターネットでご確認いただけます。

② 保険事故対応カーボンオフセット

車両保険事故の車両修理時に、環境にやさしい樹脂バンパー補修やエコパーツ(リサイクル部品)の活用を推進しています。

■(ご参考)オフセット以外の環境貢献効果

(CO₂換算)試算値 1,935トン (2008年9月より累計)

*紙の省資源化による効果は、実際に削減される印刷物重量から弊社で試算した概算値。また、樹脂バンパーおよびエコパーツ活用の効果は、社団法人日本損害保険協会のホームページに掲載のデータをもとに弊社で試算した概算値。

以上

Carbon Offset Certificate

カーボンオフセット証書

リサイクルワン・プロトコルに基づいて、下記の通りカーボンオフセットが完了したことを証します。

日本興亜損害保険株式会社

発行番号：14-4133-0002

証書発行日	：	2010年9月27日
オフセット量	：	1,343 t CO ₂ e
オフセット対象	：	保険事故対応業務および保険のWEB申し込みにおいて排出するCO ₂
排出削減クレジット	：	CER
削減プロジェクト	：	中国 河北省康保における臥龍兔山 30 MW 風力発電プロジェクト (国連登録番号 0878)
シリアル番号	：	CN-000-000-075-290-013~CN-000-000-075-291-355
無効化方法	：	日本国政府の償却口座に移転
無効化完了日	：	2010年9月21日
制約条件	：	なし

本証書は、株式会社リサイクルワンが自主的に定める「リサイクルワン・プロトコル」に基づいて、上記の通り適正にカーボンオフセットが完了したことを証すものです。「リサイクルワン・プロトコル」は、リサイクルワンのカーボンオフセット業務に係わる手順を規定するもので、英国カーボンニュートラル社のプロトコルを基に、日本国政府が公開する各種ガイドラインに則って規定されています。またその内容、およびリサイクルワンのカーボンオフセット業務がプロトコルに則って執行されている事実について、定期的に第三者機関の審査を受けることで信頼性・客観性を高めています。

温室効果ガス排出量の増加により、急速に地球温暖化が進行しています。市民、企業、行政等の社会構成員が、自らの温室効果ガスの排出量を認識し、主体的にこれを削減する努力を行うとともに、カーボンオフセットに取り組むことで、より効果的な地球温暖化対策が可能となります。



RECYCLE
ONE



株式会社リサイクルワン 東京都渋谷区渋谷3-10-13
Recycle One, Inc. 3-10-13, Shibuya, Shibuya-ku, Tokyo, Japan.

www.recycle1.com

Carbon Offset Certificate

カーボン・オフセット証書

日本興亜損害保険株式会社 御中

2010年8月30日付で貴社と締結したカーボン・オフセット業務委託契約(以下「オフセット契約」といいます)に基づき、下記のとおり委託業務に基づくカーボン・オフセットが完了したことを証明します。なお、本証書で使用される各用語は、本証書で別途定めるものを除き、オフセット契約において定義された用語と同一の意義を有するものとします。

記

【本託業務】

貴社の自動車保険の契約時、当該保険契約者に紙による保険約款や保険証券の発行を行わず、貴社のホームページ内で閲覧する方法を当該保険契約者が選択した場合、保険契約件数1件当たり金50円、および貴社の自動車保険の車両保険事故の修理時、当該保険契約者が樹脂バンパーの交換ではなく補修をしたり交換部品についてエコパーツ(リサイクル部品)を活用した場合、それら活用件数1件当たり金50円を貴社が負担することにより、低炭素社会の実現を目指すことを目的として、オフセット行為を行う業務。

【本件クレジットの数量】

CER: 1,000 t-CO₂

【本件クレジットのオフセット行為の方法】

本件クレジットを日本国政府の管理口座における償却を目的とした口座への移転の方法による。

【本件クレジットの詳細】

本件クレジットの種類	CER
プロジェクト	中華人民共和国・貴州省 水力発電プロジェクト Shaba 30MW Hydro Power Project in Guizhou Province China
オフセット行為の実施日及び完了日	2010年09月15日
本件クレジットのシリアル番号	CN-000-000-126-618-541 ~ CN-000-000-126-619-540

証書発行番号: ORIXECO20100927

2010年09月27日

東京都港区浜松町 2-4-1

オリックス株式会社

